

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公開番号】特開2012-169575(P2012-169575A)
 【公開日】平成24年9月6日(2012.9.6)
 【年通号数】公開・登録公報2012-035
 【出願番号】特願2011-31587(P2011-31587)
 【国際特許分類】

H 0 1 G 9/008 (2006.01)

H 0 1 G 9/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 G 9/04 3 5 5

H 0 1 G 9/24 B

【手続補正書】
 【提出日】平成25年12月6日(2013.12.6)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

第一の電極箔と第二の電極箔とがセパレータを介して積層された電気素子と、
前記第一の電極箔の一部に接続された第一の端部と前記電気素子の一端から引き出された
第二の端部とを有する第一の引出端子と、
前記第一の電極箔の一部と前記第二の電極箔との間に設けられた第一の絶縁材と、
前記電気素子に含浸した電解質と、
前記電気素子と前記電解質とを収容する外装体と、を備え、
前記第一の絶縁材は前記電気素子の一端から突出する一端を有する、電子部品。

【請求項 2】

前記第一の絶縁材の一端は、前記電気素子の一端から 0.1 mm 以上突出しかつ前記外装
体内に収容されている、請求項 1 に記載の電子部品。

【請求項 3】

前記第二の電極箔の一部に接続された第一の端部と前記電気素子の一端から引き出された
第二の端部とを有する第二の引出端子と、
前記第二の電極箔の一部と前記第一の電極箔との間に設けられた第二の絶縁材と、をさら
に備え、
前記第二の絶縁材は前記電気素子の一端から突出する一端を有する、請求項 1 又は請求項
2 に記載の電子部品。

【請求項 4】

前記第二の電極箔の一部に接続された第一の端部と前記電気素子の一端から引き出された
第二の端部とを有する第二の引出端子をさらに備え、
前記第一の絶縁材は、前記第一の電極箔の一部と前記第二の電極箔との間から前記第二の
電極箔の一部と前記第一の電極箔との間に亘って連続的に延びている、請求項 1 又は請求
項 2 に記載の電子部品。

【請求項 5】

前記第一の電極箔と前記セパレータと前記第二の電極箔とは巻回されている、請求項 1 乃
至請求項 4 いずれかに記載の電子部品。

【請求項 6】

引出端子の第一の端部を電極箔に接続するステップと、絶縁材の一部がセパレータの端部から突出し前記電極箔における前記引出端子の第一の端部が接続された部位と対応する位置に前記絶縁材が配置されるようにして絶縁材とセパレータと電極箔とを巻回するステップと、を含む電気素子作製工程を備える、電子部品の製造方法。

【請求項 7】

前記電気素子作製工程にて作製した電気素子に対して前記電気素子の端面と略平行に直進性の光を照射させるステップと、前記電気素子に直進性の光を照射することで前記絶縁材と前記引出端子との位置関係を認識するステップと、を含む良否判別工程をさらに備える、請求項 6 に記載の電子部品の製造方法。

【請求項 8】

前記直進性の光を 2 方向以上から照射し、少なくともそのうちの 2 方向が略対向関係にある請求項 7 に記載の電子部品の製造方法。

【請求項 9】

前記直進性の光の光源として、発光ダイオードを用いた請求項 7 又は請求項 8 に記載の電子部品の製造方法。